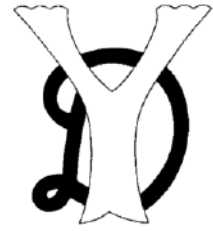


横浜市立

ろう特別支援学校



令和4年度学校便り No. 9

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

豆まき



2月3日は節分。豆まきの時期が近くなってきました。多くのご家庭で豆まきを行っていらっしゃるかと思いますが、私も家の伝統行事として子どもの頃より、そして現在も行っていきます。(ここ数年コロナ禍は小声で…) 私は、父の仕事の関係で長く弘明寺に住んでいました。弘明寺と言えばその名前の通り弘明寺観音、弘明寺商店街があり、最近ではメディアで数多く取り上げられています。夏の時期は弘明寺商店街で縁日が行われ、私はよく金魚すくいやフルーツ糸引き飴にお小遣いを使っていたものでした。縁日なども良い思い出です。なかでも印象深く残っているのが2月3日に行われる豆まきです。もう50年近く前の話ですが私が小学生の時でした。年男の私に「鬼の格好して境内を廻ってみないか」とのお誘いがあり、目立ちたがり屋だった私は二つ返事で引き受けました。友達が青鬼、私が赤鬼に扮して境内を一週りし、その後たくさんのお餅や豆、お菓子をいただいたことを鮮明に覚えています。

この学校便りを書くにあたって「弘明寺 節分法会」というホームページを見たところ、次のようなメッセージがありました。「弘明寺では節分の日に、鬼や天狗の行列を見ることができます。行列の先頭では山伏が法螺貝を吹き、その後ろに、赤鬼・青鬼・天狗・からす天狗が続きます。迫力満点の鬼達の行列を見ながら、厄をはらって福を招いてみてはいかがでしょうか。」コロナ禍のここ数年密集密接は避けなければならない規制がある中ですが、今でも節分の日に、鬼や天狗が境内を歩いて厄を払うといった伝統行事が、時代が移り変わろうと受け継がれて行われていることを大変うれしく思っています。

節分はなぜ2月3日なのか？節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があるのだそうです。春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったんだとか。

またどうして節分に豆をまくのか？悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、豆まきをするのだそうです。鬼に豆をぶつけて、悪いものを追い出すというイメージです。

豆まきの豆、“大豆(だいず)”にはたくさんの栄養が含まれているから、鬼を追い出すパワーがいっぱいつまっているからだそうです。また豆を自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になって病気になりにくいと言われています。

豆まきは、家族の健康と幸せを願って行われるものです。暦ではもうそこまで春がやってきています。(現実はまだまだ寒さが続きますが…) 季節の変わり目は体調を崩しやすいですが、みなさん体調に十分気をつけてよい立春をお迎えください。

『鬼はー外』『福はー内』『福はー内』



副校長 大杉 誠

各部の便りから

—各学部の取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップして紹介します—

乳幼児教育相談

冬休みが明け、笑顔いっぱい走ってくるお子さんに会えて、とても嬉しく思っています。背が伸びたりできることが増えたり、お子さんの成長のはやさに驚いています。

寒さが増す時期に入り、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザや胃腸炎などの感染症も心配されます。手洗いうがいや予防に努めて乗り切りたいですね。

【0歳児さんの記録です】

「大人が『おいしい“ね”～』と“ね”を強調しながら言うと、頭をかしげうんうんと相槌を打ってくれるようになりました。遊んでいたら人工内耳が取れてしまったようで、手で頭をペチペチとたたき、私（母）に目で訴えてきました。」このような、表情や視線で通じ合う経験から、相手の気持ちや考えていることを、お子さんなりに理解していきます。見過ごしてしまいそうなお子さんの発信を、しっかり受け止めていますね。



【乳幼児教育相談 「2月のお便り」より】

幼稚部

子どもたちは楽しい冬休みを過ごせたようで、いろいろなお話をしてくれたり、絵日記を見せてくれたりしました。宿題や絵日記へのご協力ありがとうございました。早くも1月の後半に差し掛かろうとしています。寒さも厳しくなってきましたが、温かくして過ごし、残り3か月、元気に登校してもらえたらと思います。

1月は給食週間があります。給食室の見学に行ったり、給食の絵を描いて調理室にお手紙を渡したりします。

30日には豆まきをします。学年ごとに校内を回って、各場所の鬼を退治しに行きます。製作で鬼のお面を作ったり、升を作ったりします。2月3日の節分では、ぜひご家庭でも豆まきをしてみてください。

2月17日（金）の本の話に向けて準備を始めます。候補の本を決めて、学校に持ってきてください。持ってきていただいた本の中から1冊に絞り、お子さんに合わせて発表の方法や原稿を担任と相談し考えていきます。お子さんが好きな本を、内容を理解して話せることが大切です。担任から使う言葉など原稿の調整をさせていただくこともあります。相談しながら一緒に考えていきましょう。

少しずつ、もうすぐ2年生になることや3年生とお別れすることを話していきます。4月になったら2年生になること、赤いバッジになること、お兄さんお姉さんになることを楽しみにできるように話していきますので、ぜひ保護者の方も機会をみてお子さんとお話してみてください。

【幼稚部1年「つくしつうしん」より】（毎回学年・クラスを変えて紹介します）

小学部

大寒（1月20日）が過ぎ、冬の寒さも本格的になりました。小低は、休み時間になるとブランコやどろけい、縄跳びの練習など元気いっぱいに遊んでいます。小高では、「こま」が流行っているようです。様々な技を教え合ったり披露し合ったりしながらお互いの技を高めあっています。技が決まると「見て、見て！」と嬉しそうに周りの友達や先生に声をかけています。

先輩の話を聞く会

2月22日（水）の5時間目に高等部3年生の話をきく会があります。高等部3年生の小学部時代の思い出や将来の夢、そして小学部の子どもたちに伝えたいことなどを話してもらいます。コロナ前は、多目的ホールで幼稚部から高等部まで一緒に給食を食べていたので、中学部、高等部の先輩と話す機会がたくさんあり、また話したことはなくても顔は知っているという環境でした。ここ数年は別々に食べているのでなかなか先輩の顔を覚える機会もなく、ろう学校ならではのよさを出せず残念です。早くまた他学部と一緒にかかわることができる機会がくるとよいです。

今年度は、高等部の卒業式に小学部も参加します。お話をきき、顔見知りとなった先輩たちを「おめでとう」という気持ちをこめて送ることができればと思います。

【「小学部だより」より】

中学部

2023年、卯年がスタートしました

干支が寅から卯へバトンタッチし、2023年が始まりました。卯年は兎年です。中国では、「兎」と「免」（免れる）の漢字が似ていることから、「平穏無事な年」といわれているそうです。中学生は、いろいろなことで不安になったり悩んだりする年頃です。不安や悩みがあるからこそ、それを乗り越えることでより成長していくものです。とはいえ、全体としては「平穏無事な年」となるようにお祈りしております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

百人一首大会【1/19】

生徒たちは大会までの間、好きな歌を暗誦したり、「一字決まり」などを覚えて上の句だけでとれるようにしたりと練習を重ねてきました。今年度の百人一首会場も広い多目的ホール。巨大なスクリーンに映し出される上の句、読み手の声、初めの五文字の指文字などからすぐさま下の句の札を探す生徒たち…。激しい取り合いは、例年に比べると少なかったように思います。その理由は、昨年よりもしっかり覚えていて、上の句のみきいて下の句を取っている生徒が多かったようです。また、慣れない正座ですっかり足がしびれ、休憩時間に足を伸ばしてしびれを解消する生徒も多かったです。取れた札の枚数は別として、緊迫した雰囲気のある百人一首大会を皆楽しめたようです。個人戦で優勝した3年瀬高さんに百人一首を覚えるコツを聞いてみました。「ただ覚えるのではなく、その歌の情景や詠んだ人の気持ちを考えると覚えやすい。」とのことでした。このコツを参考に、来年は今年よりもたくさん覚えられるといいですね。



【「中学部だより」より】

高等部

2023年を迎えて ～ 書初め ～

令和5年、2023年になりました。今年の干支は「卯」。困難に直面したとしても、うさぎのように軽やかに跳ねて越えていける、そんな一年にしていきたいですね。



冬休み明け早々、高等部棟の廊下にクラスメイトや先輩後輩が集まって談笑している様子がみられました。10日に行われた書初めでは、それぞれが自分にあった言葉を選んで取り組みました。一筆一筆、時間をかけて丁寧に書く生徒もいました。パソコンやスマートフォンで文字のやりとりができる現代社会において、紙に字を書くことが減ったといわれています。不思議なことに、個人差のない整ったフォントよりも、手書きの方が心のこもった字に見えることがあります。みなさん一人ひとりの作品に、個性や心がこもっていて、とても見所があります。一年の抱負として掲げた言葉を胸に、新たな一年を過ごしていきましょう。

全学年合同自立活動

11日（水）の5・6時間目に、2回目の全学年合同自立活動がありました。前回はさまざまな情報保障の手段について話し合い活動を行い、自分の障害を相手に伝える大切さについて学びました。今回は、自分の障害について相手に伝わるように説明することをねらいとして取り組みました。

社会に出たら、周囲の人たちのほとんどがきこえない人とかかわったことのない人ばかりです。そのような人たちに、情報保障を求めるのはかなり難しいことです。だからこそ、自分の障害や配慮してほしいことを適切に説明する必要があるという話がありました。

前半は、3年生が作成した「取扱説明書（略して、「トリセツ」と呼ばれています）」を用いて、自分の障害について発表しました。先輩の発表を参考に、自分自身の障害の特徴や説明の方法についてワークシートでまとめ、グループ内で意見交換を行いました。後半は、情報保障をお願いする上でやってはいけないことや悪い事例を3年生が演じた動画を視聴し、話し合いを行いました。各グループの発表を通して、「周囲の理解や協力を得るためには、「入念な事前準備」と「積み上げられた信頼」が大切」ということを全体で確認することができました。

【「高等部だより」より】

2月の行事			PTA関係
1	水	歯科巡回指導 高3:後期末試験(～2日)	
2	木	教育相談 幼稚部:交流 中・高:読字力検定	
3	金	高3:特別時間割開始	
4	土	高2:大学共通テスト模試	
5	日		
6	月	幼:外部交流日 小:IUI 高3:個人面談週間(～10日)	
7	火	小学部:入学説明会 中学部:後期期末試験(～8日)	
8	水	中学部:水早下校	
9	木	教育相談 臨床相談 幼稚部:交流	
10	金	小学部:保護者講座 高等部:合格発表	
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月	高1・2:後期期末試験(～15日) 通級:保護者懇談会	
14	火		PTA運営委員会
15	水	幼稚部:身体計測	
16	木	幼稚部:交流日、入学説明会	
17	金	中学部:入学調査、入学説明会 中・高:数学検定	
18	土		
19	日	中・高:英検③二次 高等部:全経簿記検定	
20	月	幼稚部:誕生会、高3生の話 幼3:卒業式練習 小学部:IUI	
21	火	学年末懇談会	
22	水	幼:高3生と遊ぶ会 小中高連絡会 小:先輩の話を聞く会 高:日検ワープロ検定	
23	木	天皇誕生日	
24	金	高等部:3年生の話を聞く会、送別会	
25	土		
26	日		
27	月	高等部:卒業式予行	
28	火	幼3:卒業遠足 高3:セレクト給食	
3月の行事			PTA関係
1	水	高等部卒業式(登下校時刻変更) 幼稚部:交流	
2	木	個人面談・授業参観週間・短縮授業・下校時刻変更(～8日)	
3	金	幼稚部:お別れ会 小学部:6年生を送る会	
4	土	高等部:入学説明会	
5	日		
6	月		
7	火		PTA運営委員会
8	水	幼稚部:卒業式練習	
9	木	教育相談 幼稚部:交流 通級:終了式(小学生)	
10	金	小・中卒業式予行 幼稚部:身体計測	

お知らせ

○インフルエンザがじわじわと流行の兆しを見せています。お子様の体調管理をよろしくお願いたします。インフルエンザによる出席停止期間は次の通りです。

「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで」
発熱した日から数えると、最低6日間の出席停止が必要となります。その後は、解熱した日によって出席停止日が延期されていきます。この期間は、ご家庭で安静に過ごしてください。

○令和5年度当初の主な学校行事は次の通りです。

小・中・高 始業式・入学式・着任式：4月7日(金)

幼稚部 入学式：4月10日(月) 乳幼はじめの会：4月13日(木)

通級開始式(小)：4月26日(水) 通級開始式(中)：4月27日(木)

○横浜国立大学の入学試験が行われる関係で、大学構内への入構規制が行われます。

①関係者以外立ち入り禁止

2月25日(土)朝～18:00まで 3月12日(日)朝～16:00まで

②正門以外閉門

3月11日(土)終日

